

ステップ・アップ

39号



前理事長 水木 泰 先生 の訃報について

平成28年11月30日 永眠（享年71歳）

水木泰先生、本当にお疲れ様でした。そして、本当にありがとうございました。先生は、四年にも及び癌と闘いながら、お亡くなりになる直前まで病院の更なるレベルアップのためにご尽力されました。

先生は三十九歳の若さで山口大学精神科の助教授に赴任され、臨床・研究・教育と、どれも精力的にこなしておられました。私は先生の研究グループに所属し、そこで臨床の基礎をご教示いただき、研究の手ほどきを受けさせていただいただけでなく、生き方についても多くのことを学ばせていただきました。

先生は、大学人として、飛ぶ鳥落とす勢いであった時に、当時理事長をされていた弟さんが病に倒れました。自分が戻るしかない、愚痴一つ漏らさず、きっぱりと大学を辞し、下関病院へ戻られました。戻られた直後から、間髪を入れずに、病院改革に着手され、精神科医療の先を読んで次々と手を打たれました。余りの変革の速さに戸惑う者も多かったわけですが、先生は先見性・実行力をもって、水の木会を今日の姿にまで発展させられました。

先生は、仕事を離れると冗談ばかり言われることも多かったですが、一旦仕事モードに入ると大変厳しい方でした。しかし、その厳しさは、私利私欲からではなく、いい病院・いい施設を作ることが、患者さんのためになるという信念からでした。さらに、部下・職員に成長してほしいということもあったと思います。例えば、私の場合にも、ごまかしや弱さなどを、的確に指摘されたことがあります。言われた時には胸に突き刺さることもありましたが、結局自分を振り返る機会となりました。耳にやさしい言葉を言うのは簡単ですが、部下を鍛えて、少しでも向上させようと、本気でぶつかっていただける方は、先生以外には殆どお目にかかっている気がしております。先生の怖さに恐れをなして、先生の情熱に気づかない人からは誤解を受けることがあったかもしれません。しかし、実際は、情が深く、部下の成長に粘り強く関わる、懐の広いかたでした。その事に気づいた者は先生の信奉者になっているのだと思います。

さて、先生のお目からは、まだまだ我々は若輩者で、心もとないと思っておられるかもしれません。しかし、先生のご長男、寛先生は、物事を冷静に観察し、合理的に判断される方です。さらに、先生の教えは我々には十分に浸透しております。新理事長のもと、皆で結束して、先生が想像されていた以上の病院にすることが、先生の恩に報いる我々の使命だと存じます。どうか、先生におかれましては、安心して天国からお見守りください。

最後となってしまいました。病気の看病と、癌を抱えられてからも仕事に邁進されていた先生を支えてこられました、ご令室様におかれましては、どうかご自愛ください。一家の大黒柱であるお父様を亡くされたご家族の寂しさも幾ばくかと存じます。

一日も早く、お気持ちの癒えますことをお祈り申し上げます。

以上、少々長くなり申し訳ございませんが、弔辞とさせていただきます。

（弔辞より転記）



平成二十八年十二月四日

下関病院附属地域診療クリニック 院長 末次 正知



ふくの会（下関病院 認知症介護者の会）の活動報告

認知症患者さんの生活の拠点を地域に置くことが勧められていますが、それに伴ない介護者の負担軽減についても、支援する環境を整えていくことは、合せて考えねばならない問題です。

当院では、入院中の心のケアや、退院後には地域に密着した支援団体へ橋渡しとなる役割が必要であることから、平成28年10月より本会を立ち上げています。

平成29年1月までに延べ27名のご家族が参加され、「認知症についてしっかり勉強したい」「みなさんの体験談は参考になりました」との声が聞かれています。

開催日	参加者数	講義内容	講義者
平成28年10月31日	4名	認知症ってな～に？	小川心理士
平成28年11月24日	4名	社会資源について	光延精神保健福祉士
平成28年12月22日	7名	フレイルについて	三根薬剤師
平成29年 1月31日	12名	ざっくりと認知症について	中山医師



訪問介護の休止のお知らせ

平成24年12月に下関病院ヘルパーステーションを開設以来、皆様にご厚情を賜りまして、今日まで事業を続けて参りましたが、諸般の事情により、平成28年12月末日をもって休止することとなりました。

これまで多くの方にご支援いただきましたこと、心より感謝申し上げますとともに、突然の事業休止でご迷惑をお掛けしますことを深くお詫び申し上げます。

短い間ではございましたが、大変ありがとうございました。



ふれあいフェスティバル

平成28年11月26日（土）下関病院付属地域診療クリニックにて『第20回ふれあいフェスティバル』を開催しました。今年は「就労支援」をテーマとして、地域の事業所の皆様のご協力を得ながら、出店に向けて2か月前から実行委員を中心に準備を行ってきました。少しでも多くの皆様にご来場いただきたいと思い、直前の一週間は天気予報を確認する毎日でした。当日はあいにくのお天気でしたが、可愛い子供達による空手演武やオカリナ演奏などで会場を盛り上げてくださいました。

今回、お越しいただいた皆様、ご協力いただいた方々に感謝いたします。ありがとうございました。



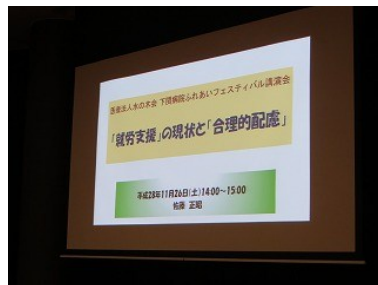
就労支援の現状と合理的配慮

催しのメインイベントは『就労支援の現状と合理的配慮』の演目で、福祉行政に精通しておられる佐藤正昭氏よりご講話いただきました。当法人にも統括部長としてお迎えして、本年からは盤石の体制で福祉事業の運営に臨めることになりました。

さて、講演では就労支援事業所、生活支援センター、公共職業安定所の取り組み状況についてご説明があり、過去直近10年間の統計を見ても、障害者の社会復帰を促す環境が整いつつあることが改めてよくわかりました。また、法整備の面でも障害の有ることを理由にした不当な差別を禁止し、障害による障壁を取り除くことが求められるようになりました。

当法人の就労支援事業所も開設から5年目を迎えるなか、職業訓練のみならずどのような配慮や関わりができるのか今一度振り返る絶好の機会となったと思います。

(精神保健福祉科 山本 早苗)



地域に開かれた就労支援事業所を目指して

ふれあいフェスティバルの講演会では、福祉サービスかじくりからサービス管理責任者の吉村氏より就労継続支援事業の説明会も開かれました。

職業訓練の紹介では、個別性に応じたプログラムの提供や環境面への配慮など、きめ細かな支援が行われている印象を受けました。

また、今後の課題であり説明会の題目でもある"地域に開かれた就労支援事業所を目指して"、外部の方を招いての事業所見学や、利用者さんの御家族との関係作りに、特に力を入れて取り組まれているとのことでした。

(作業療法科 岩崎 僚太)



行事報告

みかん狩り 女子リハビリ病棟



11月9日(水)に院外活動として久山園へ「みかん狩り」に行きました。天候にも恵まれ、木に実っているみかんを自ら採りに行かれる患者さんはとても楽しそうでした。そして、甘いみかんを頬張る患者さんは病院とはまた違った明るい笑顔を見せてくれました。

また、久山園にはその日、多くの施設の方が居ましたが、患者さん方はしっかり挨拶をして交流をされていました。院外に出ることで多くの方と交流し、季節感をあじわうことで患者さんの気分転換に繋がればいいなと思っています。(作業療法科 柴崎 真未)



初詣 男子リハビリ病棟



1月6日に院外活動として、中山神社にお詣りに行きました。初詣という新年初の院外活動では、普段よりも参加される人数も多く、出発する前から皆さん楽しみにされていました。神社でおみくじを引いた際には、結果を見て一喜一憂していましたが、結果に関係なく今年一年もがんばろうと一致団結しました。また、全体での振り返りでは、皆さんに今年の抱負をうかがい、それぞれの意気込みを共有しました。

今後もこのような院外活動を通して、地域の方々との関わりを大事にし、患者さんにとっていい思い出になるような活動にしていきたいと思っています。

(作業療法科 田原 暁仁)

連載

つなげよう！スタッフのわ

メディカルアシスタント

今回は 古谷 綾乃 さんです。

スタッフでつなげる、趣味のはなし。

22

多趣味な私の一番は被写体撮影です！一眼レフで撮影をし始めて11年経ちます。最近では屋外撮影だけでなく特殊撮影やスタジオ撮影にもせっせと足を運んでいます。1枚でも納得した写真が撮れると達成感があるので、最初の手出しは高い趣味ですが、おばあちゃんになっても続けていきたい趣味です！

次回は 作業療法士 田原 暁仁 さんです。



下関病院 広報委員会

山口県下関市富任町 6 丁目 18 番 18 号
TEL:083-258-0338
FAX:083-259-8876
ホームページ: <http://www.mizunoki.jp>



下関病院は
日本医療機能評価機構
認定第 PA57 号

水の木会

検索

編集後記

インフルエンザの予防には朝起きてすぐの歯磨きが効果的との事です。

朝ごはんの前に歯磨きです。お試しください。

下関は海に近く、風の強い日があります。車のドアを開ける時は隣にあたらぬように気を付けましょう。(広報委員 本園 羊司)

